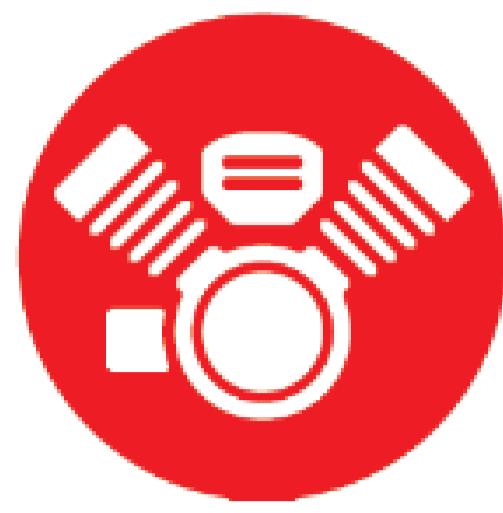


ディーゼル燃焼チーム クラスター大学(12) (グループ4)

東京工業大学工学院システム制御系

佐藤 進, 小酒 英範, 長澤 剛, Pop-Paul Ewphun, 小竹 視久, 吉澤 京介

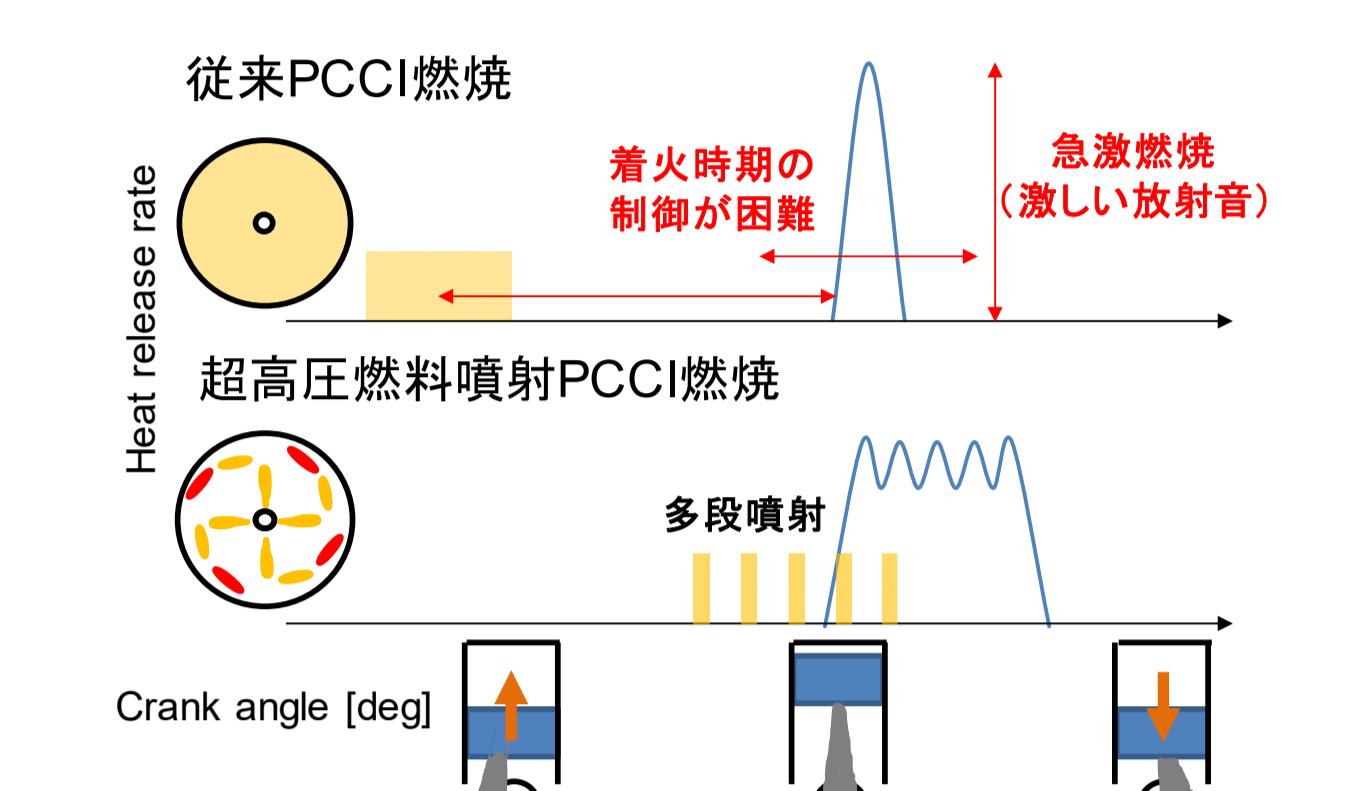


超高压噴射によるPCCI燃焼制御

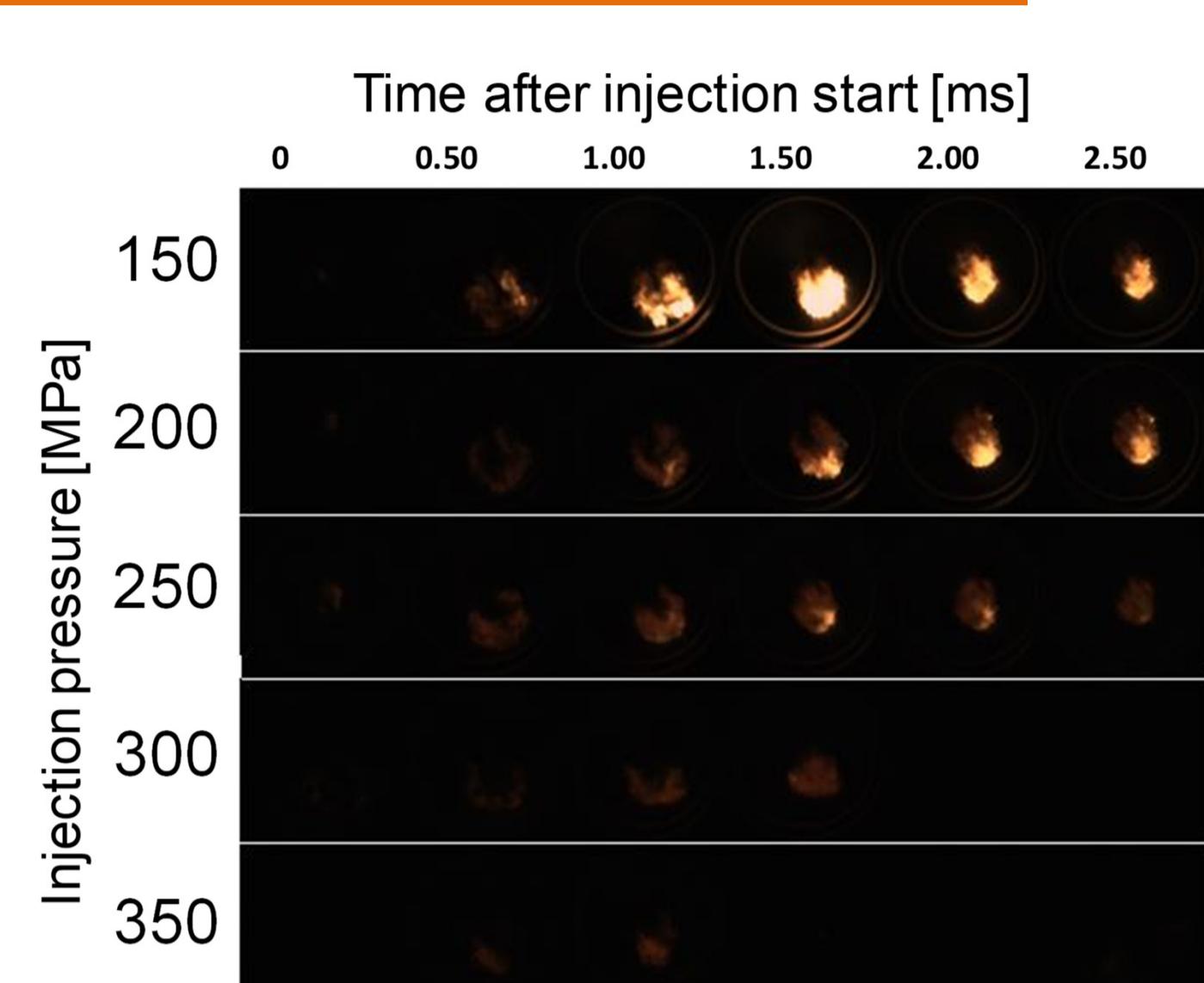
研究の目的と位置付け

✓ 超高压パルス噴射によるPCCI燃焼運転領域の拡大

- 1サイクル中の燃料噴射多段化 + 超高压燃料噴射
- 多段化した各噴霧燃焼では予混合的燃焼を実現しつつ全体の燃焼期間は長期化せずに燃焼時期を上死点付近に設定可能
- ✓ 噴孔オフセットノズルによる混合気制御
- ねらいどころ: 噴孔径を絞らず(各段の噴射期間は延ばさず)に、ペネトレーションを抑制。噴霧周辺の空間利用率を向上させる
→ 中低負荷条件における超高压パルス噴射燃焼への適用、および通常ディーゼル燃焼への適用も調査



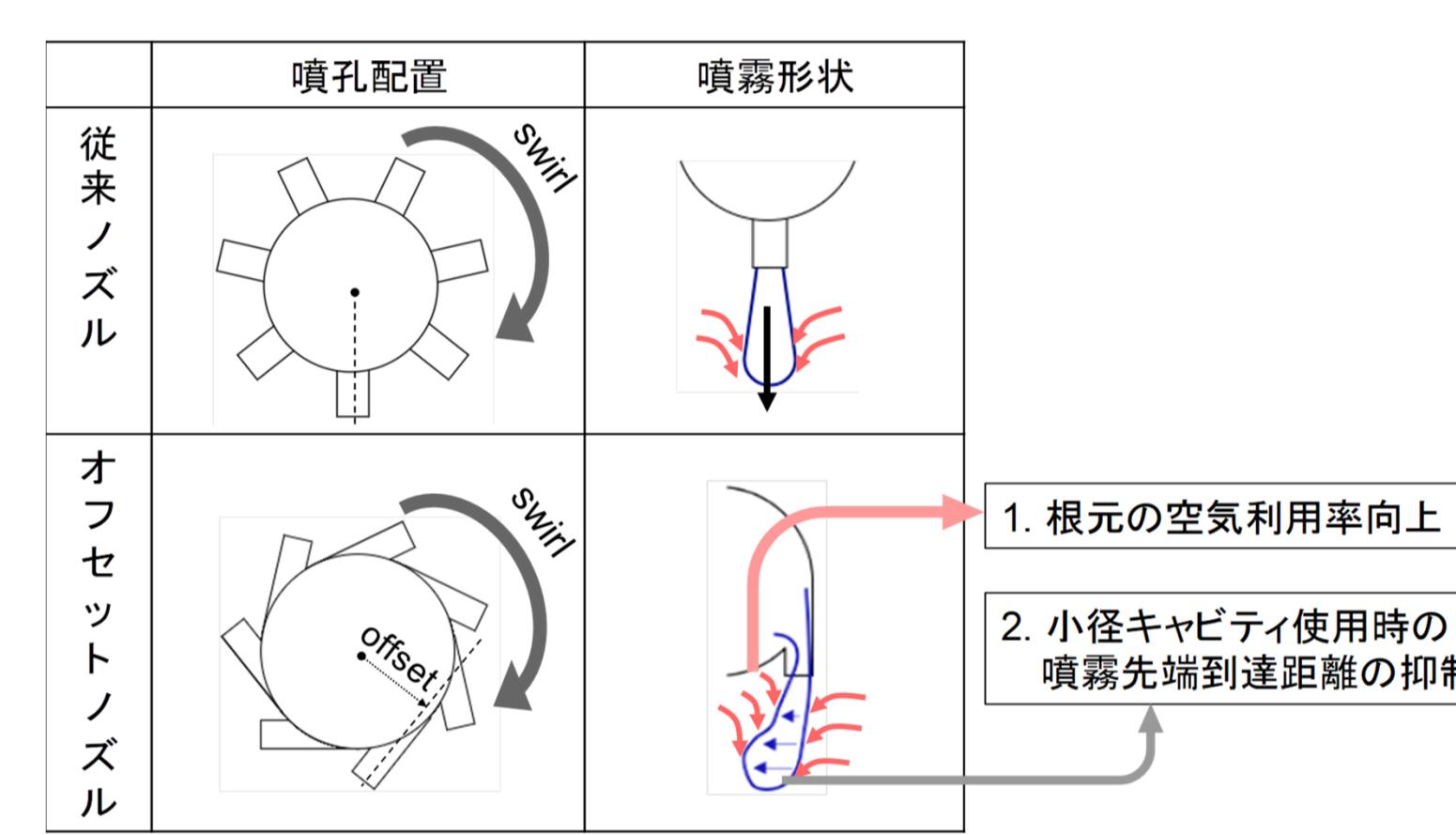
超高压パルス噴射燃焼コンセプト



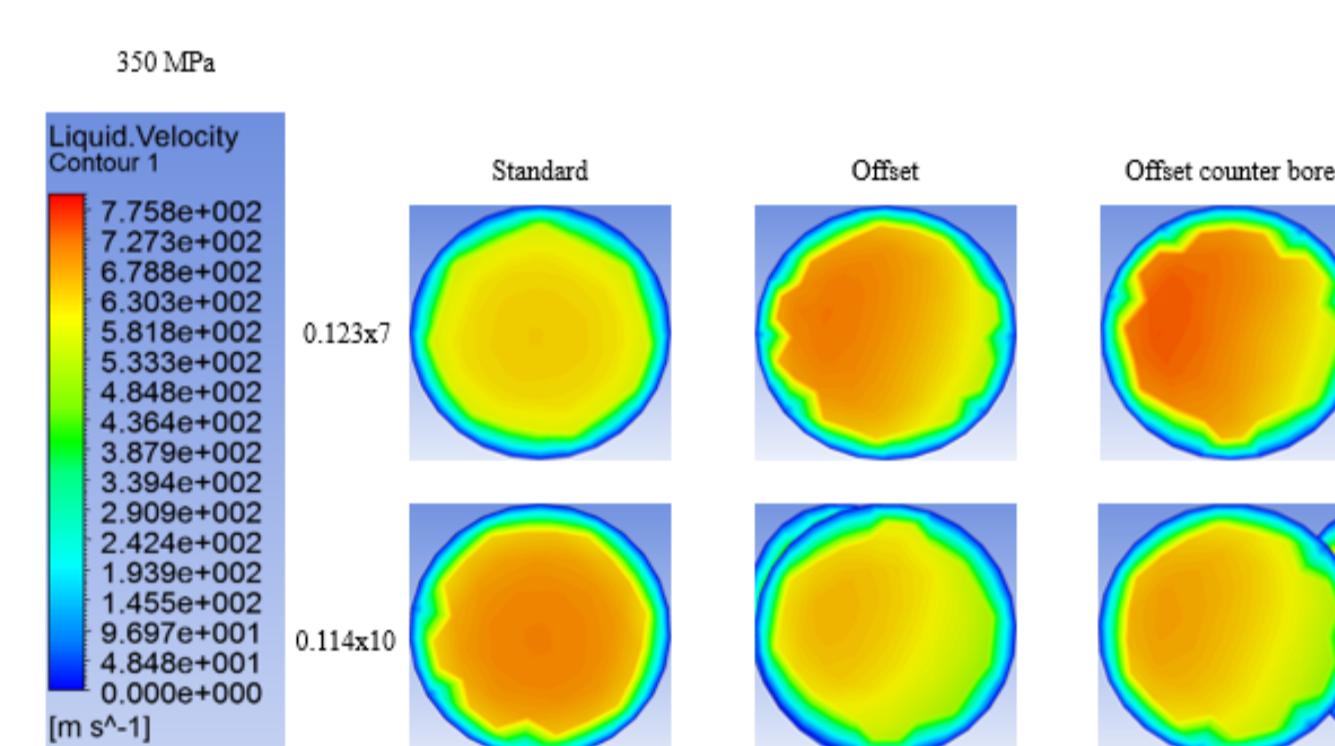
超高压噴射単一噴霧火炎の様子
(RCEM, TDC噴射)

研究の方法

噴孔オフセットノズルのねらい

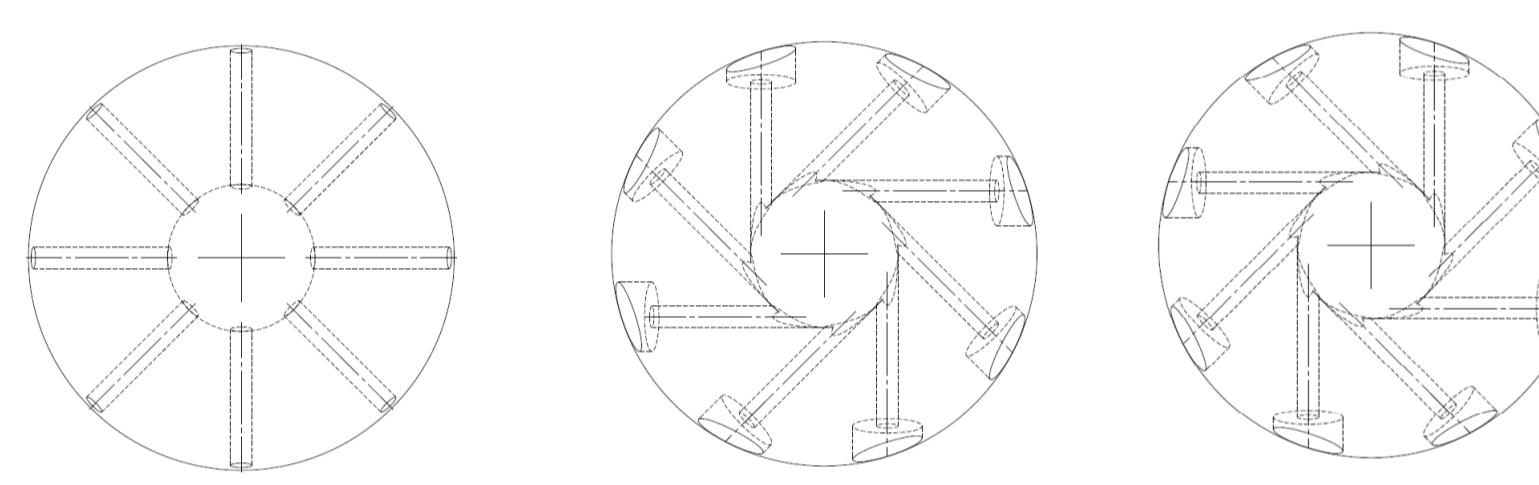


噴孔径、座繰り有無の検討



噴孔径を絞らず、L/DをStandardと合わせ、噴孔出口における速度分布を幅を持たせる

単気筒エンジンで用いるノズル形状

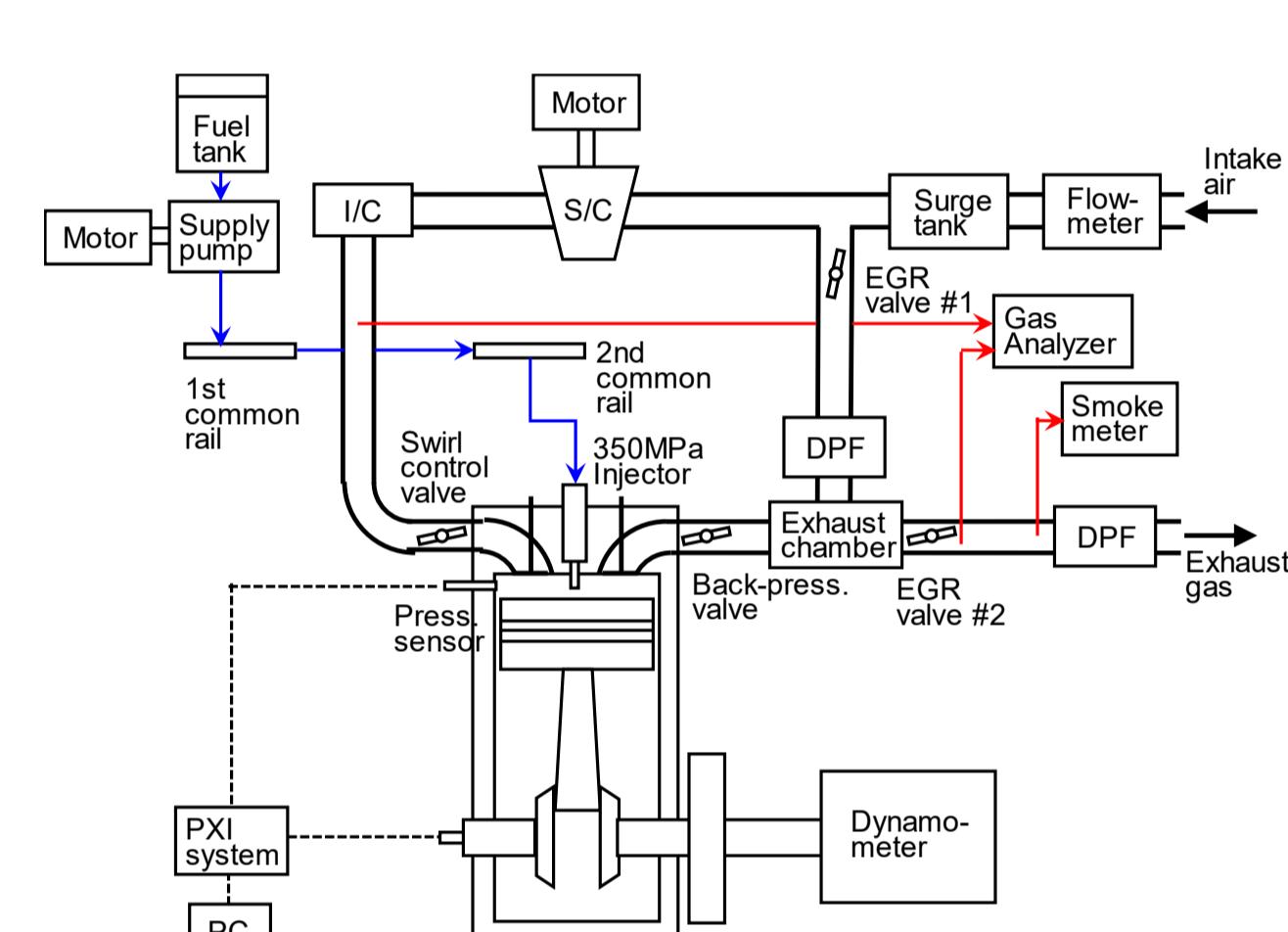


φ0.123×8 Standard φ0.123×8 CW (スワール順方向) φ0.123×8 CCW (スワール逆方向)

中低負荷条件: 超高压パルス噴射への適用
低負荷~高負荷条件: 通常ディーゼル燃焼への適用

ノズル形状と燃料噴射圧力がエンジン性能、排気性能に及ぼす影響を調査

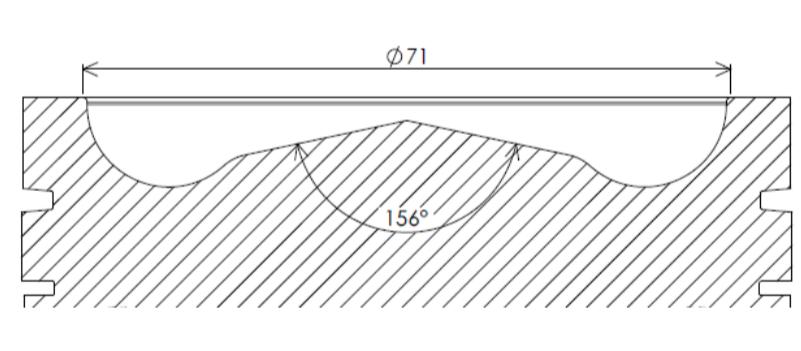
単気筒エンジンシステム



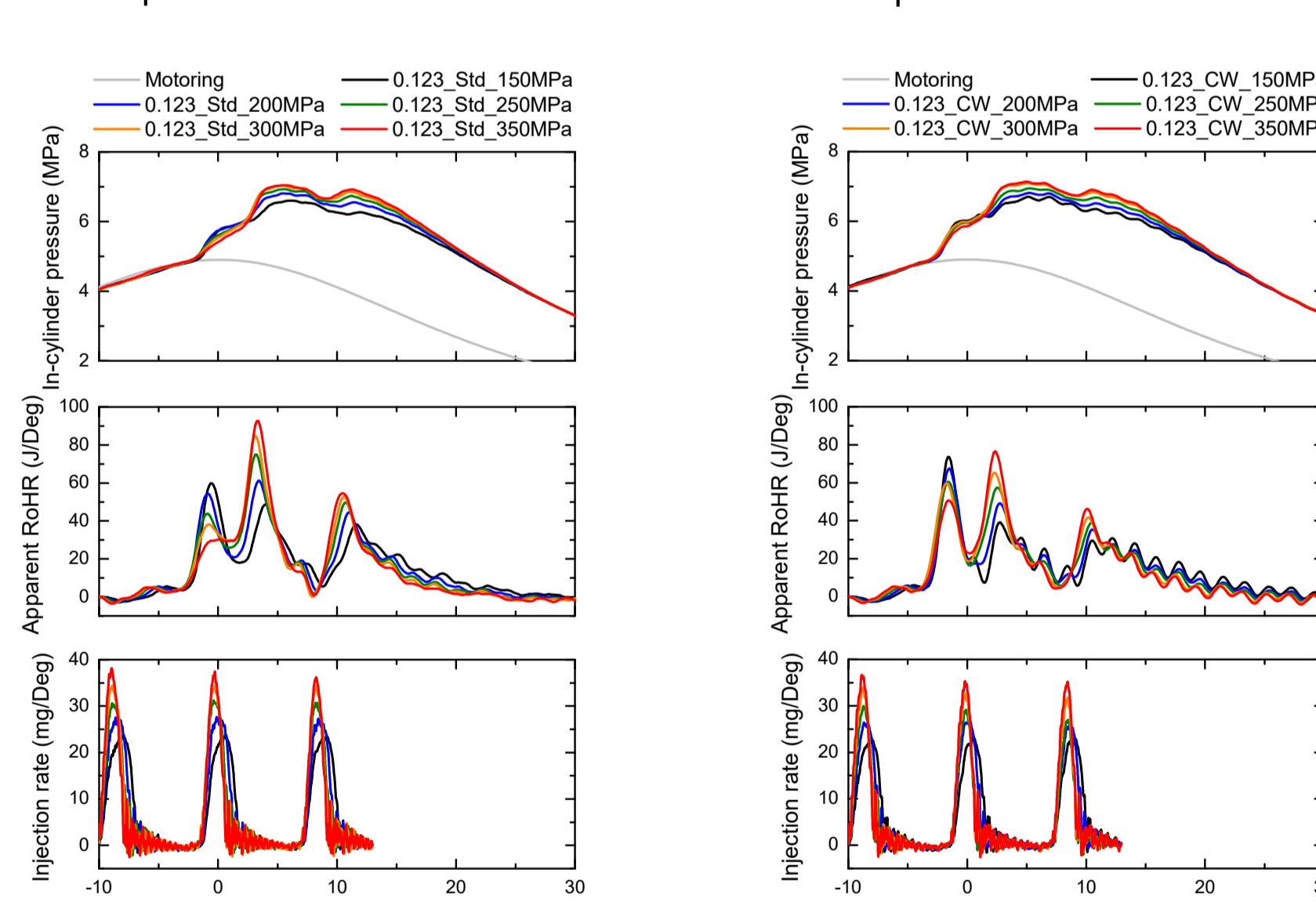
主な成果

✓ 中低負荷: 超高压パルス噴射燃焼への適用性

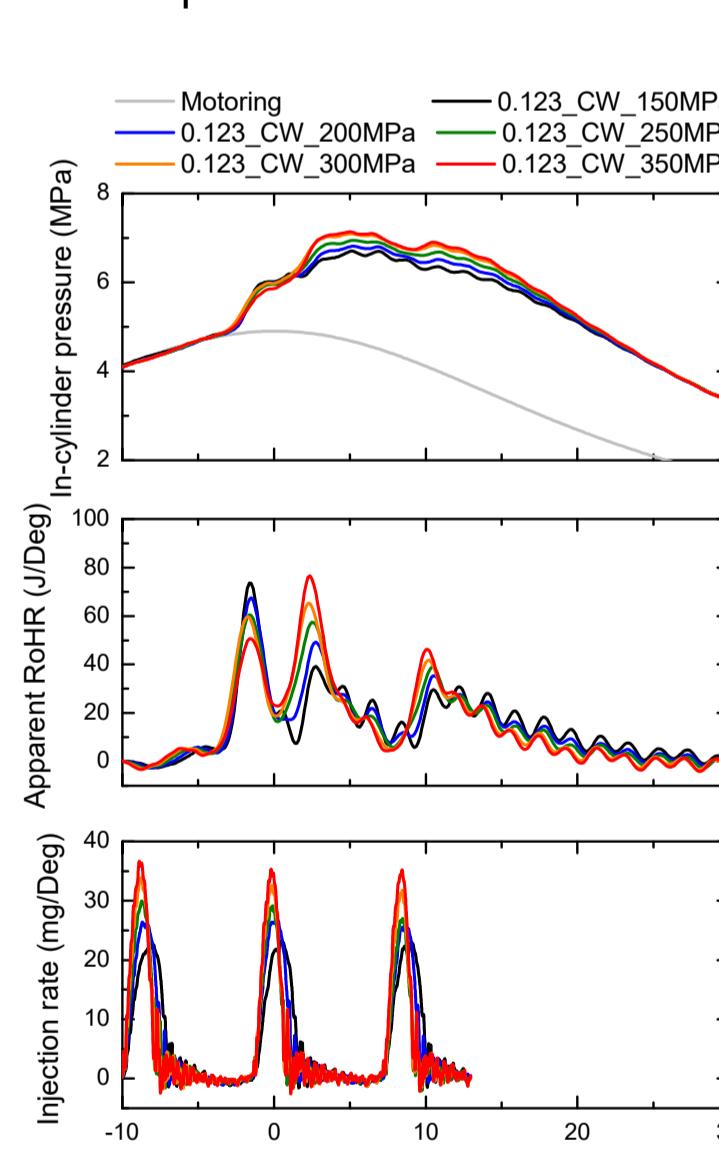
使用ピストン(LT71), 実験条件



φ0.123×8 Standard

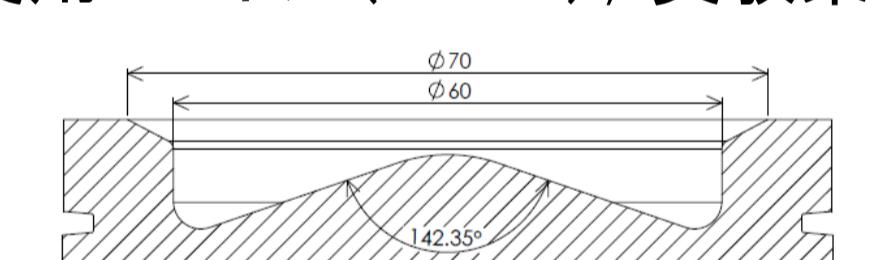


φ0.123×8 CW



✓ 低負荷~高負荷条件: 通常ディーゼル燃焼への適用性

使用ピストン(TS60), 実験条件



Point1 Point4

